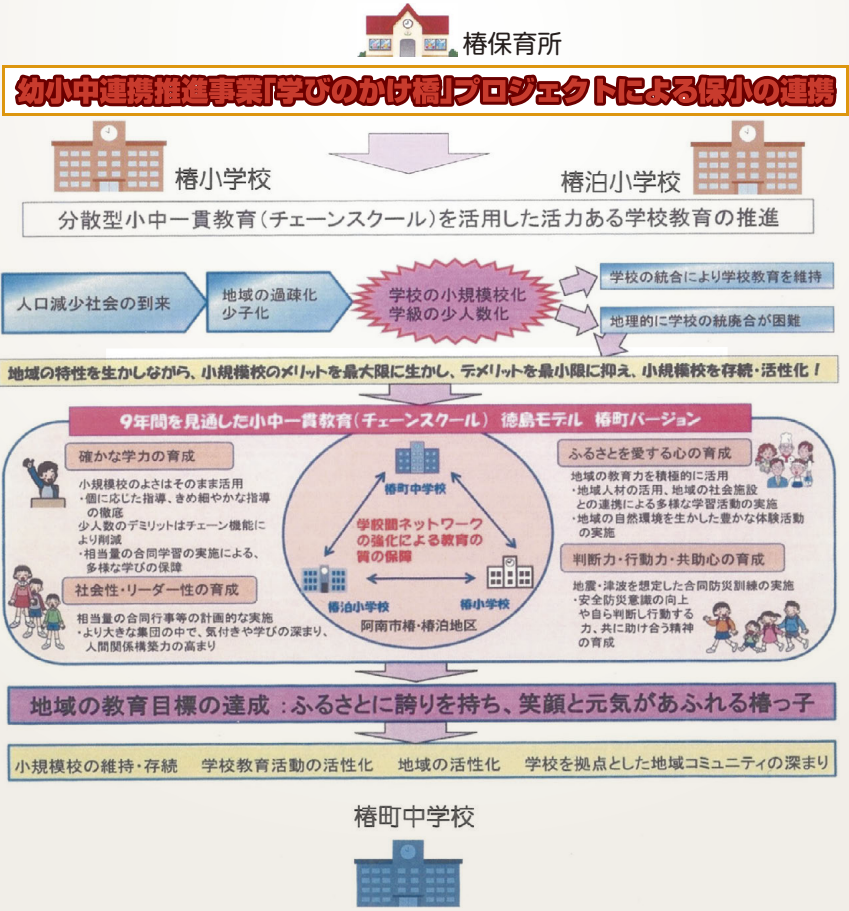


徳島県 保幼小連携の取組

学びのかけ橋





平成28年度 幼小中連携推進事業 「学びのかけ橋」プロジェクトにおける 保幼小連携の取り組み

近年、いわゆる「小一プロブレム」、「中一ギャップ」等が指摘される中、学校教育には、幼稚園等、小学校、中学校の全ての教職員の共通理解のもと、連続性のある教育活動を推進していくことが、これまで以上に求められています。

そこで、徳島県教育委員会は、幼・小・中の教職員が連携に努めることにより、それぞれの校種において幼児児童生徒の実態や指導の仕方等の違いを体験的に理解するとともに、円滑な接続について実践や研究ができるよう本事業を実施し、その成果を県内に普及します。

平成22年度に開始した本事業では、これまでも県内のいくつかの地域が研究指定を受け、「目指す子ども像」の共有、幼児教育と小学校教育・中学校教育の相互理解と充実、「接続カリキュラム」の作成、互恵性のある合同活動等について研究し、成果を残しました。

平成28年度・29年度の2年間は、東みよし町と阿南市椿地区が指定地域となり、幼小中、保小中の連携について研究に取り組んでおります。本パンフレットは、その取組の中から、保小連携・幼小連携について紹介します。

保幼小連携にむけて 鳴門教育大学 大学院教授 木下光二 先生

新しい幼稚園教育要領や保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、小学校学習指導要領にも連携の必要性が明記され、様々な施策とともに、平成22年の秋には接続のための報告書が出されました。内容として、幼児期から児童期への滑らかな連続性を図るためには、幼児期にどのように育ってきたのか、そして児童期以降、どのように育っていくのかを両者でもって共有する大切さが述べられています。いわゆる「子どもがつながる」「教員がつながる」「教育課程がつながる」ことが重要であり、つながるためには、情報交換や交流活動への最初の一步を踏み出すことが大切です。本リーフレットはそのためのかけ橋となることでしょう。

無理なくできることから始め、徳島県から全国に向けてよい情報を発信してくれることを期待しています。子ども達の笑顔のために、つながることが何より大切です。

保幼小連携のポイント



まず、互いを知ろう

- 近隣の幼稚園や小学校を訪ね、保幼小の違いや共通点を知ろう。
「子どもにとっての環境の変化や違い」
「幼稚園等での経験と遊びの中の育ちや学び」
「小学校での学びにどうつながるか」等



無理なくできるところから

- 既存のカリキュラムから、一緒にできる活動を見つけよう。
「互いの行事への参加」
「小学校の学習への参加」
「互いの研修会への参加」等
- キーパーソンを位置付けよう(連携窓口の一本化)



幼児、児童どちらもが主役。夢中になれる活動を

- 互恵性のある活動をつくろう。
- 年間を通して活動できるペアやグループを決め、見守ろう。
- やりっぱなしで終わらない。「どんな変容や育ちがあったか」教師同士で交流しよう。
- 交流の様子を記録やファイルに残そう。



互いの計画をつなげよう

- アプローチ・スタートカリキュラムを作成しよう。
- 年度末に反省、改善しよう。
- 保護者への積極的な広報をしよう。

連携にはいいことがいっぱい

子どもにとって 幼児:安心感や良いイメージをもって進学
児童:自己肯定感, 存在感を育む

教師にとって 教育理念が広がる
保, 幼, 小の良いところを知る

学校にとって 1年生の安心感が, 学校そのものの安心感へ



東みよし町の取組

研究のテーマ

相互の理解と交流を中核とし、地域とともにある幼小中の連携のあり方
～すべての子供の「元気に登校、楽しい学校生活、笑顔で下校」のために～

地域の概要

本町は、吉野川を挟み北岸の旧三好町と南岸の旧三加茂町の2町が合併し、三三大橋一本でつながれた町である。三好中学校校区と三加茂中学校校区それぞれに、2校の小学校とそれに併設された、2幼稚園があり、三加茂中学校区の幼稚園・小学校・中学校を三加茂学園、三好中学校区の幼・小・中を三好学園と称してそれぞれの学園の中で連携を図っている。

方策

- 中学校区別に、幼稚園・小学校・中学校をひとつの学園として構想し、学園内で連携を図る。
- 幼稚園から中学校まで、10年間を見通して育てたい力を明らかにし、共通理解を図る。
「三加茂学園連携カリキュラム」
「三好学園連携カリキュラム」
- 幼小、小中、幼小中の計画的な交流を生かした連携。
- 地域（学校支援隊）との連携によるコミュニティスクールの活動。

今ある行事や活動を生かした計画



小学生の読み聞かせ

保護者や地域の方々を巻き込んだ活動

地域との連携
学校支援隊の方々による
コミュニティスクールの活動



七夕集会

年間交流計画例(足代小学校平成28年度年間計画1学期分)

月	足代幼稚園	足代小学校	三好中学校
4	4/11交通安全教室 [希望職員] 読み聞かせ(通年) 園舎清掃(通年)	[1年] 4/23フリー参観 [5年]	[希望職員]
5	4/25運動遊び [教員] 5/2運動遊び [教員] 5/13エンドウ豆収穫 [1年] 5/27 いも植え [1年] 5/30 読み聞かせ [教員]	[全職員]	5/19授業参観
6	[希望職員] [希望職員]	6/17フリー参観 [希望職員] 5,6年 園工	[希望職員] 6/21フリー参観 6/23乗り入れ授業
7	6/20運動遊び [教員] 6/30 うきうき・なかよしランド [2年] 7/5七夕交流会 [1年]	[2, 3, 4, 5, 6年] 7/7フリー参観 [希望職員]	7/7・8職場体験 [希望職員]
8	[希望職員] 7/8迷路で遊ぼう [3年] 7/11プール遊び [教員]	6年 英語 [希望職員]	7/8乗り入れ授業
		8/9幼小中合同研修会	交流

様々な学年との交流

多様な交流スタイル



①教員同士の交流

教育観・教育理念の共有

毎月1回、オープンスクールのように、各幼小中学校が終日参観できる教職員のフリー参観を実施しています。いつでもだれでも参観できる学校を目指して、案内を町内の保育所・保育園・幼稚園まで広げ、全ての学校関係者が、子ども達の成長を見られるようにしました。「幼稚園や小学校で身につけなければならないことを知るきっかけとなり大変参考になった」という感想がありました。

幼小中全教職員が一堂に会しての研修会を年間3回程度開催しています。まずは幼小中の教職員が顔見知りになること、つながることを目的にスタートしました。和やかな雰囲気の中で、それぞれの体験や教育に対する思いを語り合います。学力向上や幼小中一貫教育をどう進めるかを、ホワイトボードを使って熱心に熟議する機会となっています。



②子供同士の交流

自己肯定感・自己有用感 互恵性等の育成

1年生が幼稚園に行き、水遊びをしました。ビニルプールに入ったり、水鉄砲で遊んだり、石けんを細かく砕き、水に溶かしてクリーム状に泡立ったり、また砂場で水たまりを作ったりと様々な活動ができました。1年生は「幼稚園さんに喜んでもらってうれしかった。」という感想があり、幼児が喜んでくれたことで、自己有用感が高まっています。



「おまつりひろば」を開くため、1年生と園児が制作活動を行いました。一緒に材料をそろえたり、作ったりする活動を通して、園児も1年生と同じように積極的に活動することができ、互いに学び合いのできる機会となりました。完成したひろばで一緒に遊び、一連の活動を通して更に交流が深まりました。

③教員と子供との交流



小学校の教師がその専門性や特技を生かして園児と交流します。短い時間ですが、国語や体育の学習を体験することにより、園児は、小学校の授業に対する心構えを身につけたり、期待感を膨らませたりすることができます。



子ども理解・発達理解と連続性等

阿南市(椿町中学校区)の取組

研究のテーマ

ふるさとに誇りを持ち、笑顔と元気があふれる椿っ子の育成
～小規模な保育所・学校の特性を生かした保・小・中の円滑なつながりを求めて～

地域の概要

椿小学校は阿南市南部の農村地帯にある全校児童19名の小規模校である。椿泊小学校は、更にもその奥、岬の先端に位置する小学校で、全校児童は9名である。2校の中間に位置する椿町中学校は全校生徒20名、椿保育所幼児は15名である。

椿・椿泊地区は、少子高齢化により地域の過疎化が進み、子どもの数は急激に減少している。子ども達は、平成21年度から地区にただひとつだけとなった椿保育所に入所し、椿小学校と椿泊小学校の2校に分かれ、その後椿町中学校に進学する。

本地区は、平成25年度から椿町中学校と両小学校の3校で「チェーンスクール」を活用した小中一貫教育に取り組んでいる。チェーンスクールの様々な取組により、大きな集団での活動や学校行事が可能になり、多様な学びやふれあい、校種を越えた人間関係の広がり、コミュニケーション力の育成を図っている。この取組をさらに保育所に広げ平成28年度より、15年間の学びを見通した保・小・中の連携に取り組むこととした。

方 策

- 保育所から小学校、小学校から中学校への円滑な接続のため、育てたい力を明らかにし、共通理解を図る。
- 保小、小中、保小中の計画的な交流を生かした連携。
- 地域との連携。

活動の様子



1・2年生 まちたんけん(保育所) 6月

生活科の学習で、がんばっていることを発表したよ。久しぶりの保育所、楽しかったな。弟や妹もよろこんでくれたよ。



1・2年生 まちたんけん(椿泊漁港) 6月

年長さんが毎年行っている椿泊漁港に、小学生も誘ってもらったよ。小学生にとっては2回目の探検。年長さんの手をひいて一緒に見学したよ。



5・6年生 総合学習の発信(保育所) 11月

総合学習で調べた地域の自然「アサギマダラ」を発信。地域の自然環境の大切さをわかりやすく保育園児に伝えました。小学生は、相手意識をしっかりと持つことができ、よい発表となりました。その後園庭ではブランコをおしてあげたり、幼児の力に合わせてドッジボールをしたり、5・6年生らしい交流ができました。



1・2年生 ケヤキタイムの交流(保育所) 11月

生活科でつくったおもちゃを持って、ケヤキタイム(業間休み)と一緒に遊んだよ。「こま、ぱちんがえる、ぴょんうさぎ」どのおもちゃがいいですか〜?



1・2年生 バザーのお知らせ(保育所) 11月

椿っ子バザーのお知らせと、バザーでの1・2年生の出し物「さかなつり」を使って交流したよ。バザー当日は保育所のみんながいっぱい来てくれたよ。



- 保小の交流
- 小小の交流
- 小中の交流
- 保小中の交流
- 保中の交流
- 教員同士の交流



保育園児 体験入学(小学校) 2月

国語「もののなまえ」で買い物ゲームを、生活科「手づくりおもちゃ」ですごろくをしたよ。小学校の勉強って楽しいなあ。

休み時間は、1〜6年生と一緒に遊んで楽しかったよ。

1・2年 成長アルバム(保育所) 2月

「トイレが小さい。」「このおしりだけで昔、遊んだね。」「先生、ぼくが保育所の時はどんな子でしたか。」保育所を訪問して、自分の成長を確かめた後、地域のお年寄りに教えてもらった、昔遊びで交流したよ。お兄さん、お姉さんになったことを感じるね。



月	椿保育所	椿小学校	椿泊小学校	椿町中学校
4	第1回保小連絡会			
4	第1回小中一貫全体会			
5	田植え			
5	合同体カテスト			
5	小中合同防災オリエンテーリング			
6	生活科「またんけん(保育所)」			
6	生活科「またんけん(椿泊漁港)」			
7	合同人権学習			
7	YMCA研修生との国際交流			
9	稲刈り体験			
9	椿・椿泊地区合同運動会			
10	人形浄瑠璃体験授業			
10	NIE出前授業			
10	第2回小中一貫全体会			
11	保育			実習
11	5・6年総合学習の発信			
11	1・2年休み時間交流 生活科「手づくりおもちゃ」			
11	1・2年バザーのお知らせ 生活科「手づくりおもちゃ」			
11	椿っ子バザー			
11	小中一貫合同授業			
12	椿支部人権教育研究大会			
12	小中一貫ふるさと学習			
2	新入生体験入学			
2	1・2年生活科「成長アルバム」 「むかしのあそび」			
2	学習発表会			
2	第2回保小連絡会			
3	第3回小中一貫全体会			